

新たな年を迎えて

兵庫県中小企業診断士協会 志水 功行
副会長・総務委員長

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

こうしたご祝詞を申し上げますと、皆様方の中には「何を呑気なことを」と思いの方もいらっしゃるかもしれません。ここ2年余りの間、新型コロナウイルスの影響により私たちが支援する中小企業の状況も大きく変化いたしました。現在(11月半ば)は、新型コロナウイルスの落ち着いている状態ですが、まだまだ先行きが不透明な面は否めません。より皆様のお力が必要となる企業が増加しておりますので、お力添えをお願いしたいと思います。

当協会の活動自体も、新型コロナウイルスの影響により、この2年間は感染対策で会員同士の触れ合いも極端に減り、また、総会や新入会員ガイダンスもリモートや動画配信など、直接お会いすることが叶わない2年間となってしまいました。総務の責任者としても残念でなりません。

とはいえ、新型コロナウイルスもこのまま終息の方向で進んでいけば、今年は、会員の皆さんと直接お会いできる機会も増えてくると思います。

さて、協会の状況について2点ほどご報告したいと思います。

①近年の兵庫県中小企業診断士協会の動向

2014年までは会員数としてはほぼ横ばい状況で推移していましたが、2015年度から微増傾向が続いており、ここ10年間で25%程度の増加となっております。中小企業診断士への注目度が向上してきた結果であるかもしれません。

年度末の会員数	単位:人									
年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
人数	206	209	206	205	217	237	234	245	246	253

当協会での会員数が微増傾向にある中で、当協会事業にご協力いただき謝金をお支払いした方の人数ですが、こちらの状況を見てみると、過去6年間で増加傾向にあります。ここ6年間で約3倍の人数になっており、2020

年度では会員の約半分の方が協会事業にご協力いただいています。

協会事業にご協力いただいた人数 単位:人

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
人数	42	61	86	96	104	131

新型コロナウイルスの影響により、「単発的な仕事(相談員業務)」や「さまざまな審査員」などの業務が増加しており、企業内診断士の方でもご協力できる案件が増えてきたものと思われます。

②企業内診断士・独立したての診断士へのセミナー

兵庫県中小企業診断士協会の動向でも述べた通り、当協会への案件が増加しており、企業内診断士の方のご協力をいただいております。まだこの状況は継続していくと考えており、より当協会の会員様にご協力をいただかなければならない状況です。

ただ診断士としての業務の経験が不足しており、自信がない方などもいらっしゃると思います。昨年度から「受託案件における実力養成講座(有料)」を始めており、当協会の案件に必要な知識を習得していただけるようになっております。

今まで実施していたスキルアップセミナーとは違った目的となっておりますので、協会事業にご興味があり、不安のある方はセミナーにご参加の上、協会業務にご協力いただければありがたく存じます。

以上、10年を経過した兵庫県中小企業診断士協会の動向を振り返ってみました。新型コロナウイルスの影響も受けておりますが、その中でも中小企業診断士への期待は高まってきております。本年度も当協会としては、地域に求められる中小企業診断士活躍を支援していくように、役員一同会員様のサポートをしてみたいと思っております。会員の皆様の更なるご協力をお願いしたいと思います。

現在(11月半ば)は、やや不活性化している新型コロナウイルスですが、もちろん油断はできません。会員の皆さまも、十分に健康・感染にご留意をいただき、どうか今年も健やかに過ごしてください。



節目の年を迎えて



このコーナーでは、今年、更新10年・20年・40年と節目に当たる年を迎えられた会員の方に、これからの抱負やこれまでの振り返りを投稿していただきました。

御栗一智（みくり かすのり・1992年登録）



新年明けましておめでとうございます。銀行員時代（三和銀行）に診断士登録を行い、兵庫県の協会に所属、ものづくり&SCM研究会に参加させていただいております。銀行と関連会社の総合コンサルティング会社を経て、大阪市の公募制度に応募し、小学校の校長職を三年、昨年四月からは東成区長を拝命しました。区内には千を越える製造業が集積しており、診断士のスキルも活かしながら、区民の皆様に信頼される区政運営に取り組みたいと思います。

辻 泰孝（つじ やすたか・2002年登録）



私は、企業内外に人事・人材育成のコンサルタント活動を15年間行い、退職とともにメンバーと独立して活動を始めました。当初は順調でしたが、その後、予想外の出来事やコロナ感染のために大きな苦境に陥り、従来の営業や実施形態が困難となりました。その後「自分が変革に対応」との思いで、今では企業の人事担当、コンサルティング、遠隔地教育サービスが主業務となりました。縁あって県大 PARKLABOで縁に囲まれながら、本当にお役に立つコンサルティングが信条に、あと一頑張りたいと思っています。

池淵ゆかり（いけぶち ゆかり・2012年登録）



もう10年、されど10年。独立当初、右も左も分からない手探り状態の私がなんとか過ごせたのは、当協会を含め色々なご縁に助けられたおかげと感謝しております。昨年は「コロナ騒動」で診断士業務の奥深さを実感すると共に、大きく仕事の質が変わった年でもありました。自分自身でもこの10年でどれほど成長したのか実感はありませんが、少しでも皆様のお役に立てるよう努力して参りますので、引き続きよろしくお願ひします。

亀井芳郎（かめい よしろう・2012年登録）



「十年一昔」という通り自身の環境が様変わりしました。資格取得後は、右も左もわからない状況でしたが、現在は自分なりのポジションと方向性を見つけて奔走しています。特に、内閣府プロフェッショナル人材事業における「大企業連携副業兼業マッチングプロジェクト」は、大企業人材をリスクリングにより中小企業にマッチングする事業で、力を入れています。協会の企業内診断士の参加も大歓迎ですので、この場を借りてお願ひ申し上げます。



小林謙祐 (こばやし けんすけ・2012年登録)

新年あけましておめでとうございます。早いもので診断士登録から10年目になります。あつという間でしたが、ここ数年は充実した日々が送れているように感じています。今年も新型コロナウイルス感染症の影響など中小企業にとっては、かじ取りの難しい状況が続きますが、しっかり支援できるよう努めて参ります。与えられた仕事に感謝し、これからも診断士としての業務に邁進します。どうぞ、よろしくお願い致します。



玉田一己 (たまだ いっき・2012年登録)

新年あけましておめでとうございます。2012年に中小企業診断士登録をして10年が経ちました。たくさんの方に支えていただき感謝しております。企業内診断士のため診断士らしい活動はあまりできていませんが、これからの人生で日々の学びを地域に還元していければと思います。直近はコロナで社会的に大きな変化がありましたが、変化に強い柔軟でしなやかな意識を持ちながらこれからも取り組んでいきたいと思ひます。引き続きどうぞよろしくお願い致します。



塔筋幸造 (とうすじ こうぞう・2012年登録)

中小企業診断士となって、最近感じていることは自分にとって向いている仕事だと感じる事が多くなったということです。クライアントの皆様、支えて下さった恩師や友人や仲間にも恵まれてコンサルティングをさせて頂いたことにとても感謝いたしております。真摯に仕事に向き合ひながら、これからも微力ながら何かお役に立てればと思ひを新たにしています。

<https://www.kmba.co.jp/> 検索「K M B A」



富松 誠 (とみまつ まこと・2012年登録)

早いもので資格取得から10年が経過しました。コンサルティングというものが全く分からないところから諸先輩方のご指導を賜り、これまで経験と実績を積んでまいりました。今後の10年は「なれる最高の自分」を目指し、自信と誇りある診断士像を追求するため鍛錬と成果を積み重ねてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



渡辺 明 (わたなべ あきら・2012年登録)

あけましておめでとうございます。2012年6月から企業支援活動開始、振り返るとアツという間の、皆さまのおかげで、忙しく楽しく企業支援させて頂くことができた9年6ヵ月(当該原稿作成2021年11月時点)でした。支援1~2年目頃から自然と「当たり前のことを当たり前に行ける企業に」をモットーに企業支援のお手伝いをさせて頂くようになり、その方針をしっかりと継続しております。引き続き、宜しくお願ひ申し上げます。

入会者のお知らせ

令和3年9月1日以降の入会者は以下の通りです。(敬称略)

澤井ゆかり、田中雅人、村上稔典



企業内診断士のための協会活動活用法 ～ 現在と将来のために ～

中小企業診断協会が平成22年1月に公開した「データでみる中小企業診断士」によると、いわゆる「企業内診断士」は約54.5%です。半数以上が民間企業や公的支援機関、公務員など、会社や団体に勤めながら中小企業診断士として活動している人たちです。中小企業診断士という資格は、誰にとっても容易に得られる資格ではありません。苦労して取得した資格を、今の職場でも十分に活用したいと誰もが感じていることでしょう。

今回の特集は、特に「企業内診断士」にスポットを当て、協会活動をどのように活かしていくかを考えてみました。現在の仕事や自身の将来のために役立てていただくと幸いです。

■資格の活かし方

組織の一員として勤めながらも協会活動に参加することは十分に可能です。企業内診断士にとって協会活動は、次のような活用の目的があると考えられます。

1. スキルアップ
2. 人脈の形成
3. 将来の独立に向けて

せっかく苦労して獲得した資格です。今の仕事や自身の将来のために、どう資格を活かしていくか、皆さんも考えていることでしょう。当協会でも、中小企業診断士の過半数を占めるといわれる企業内診断士のためにいろいろなメニューを取り揃えています。

■スキルアップのための活用法

中小企業診断士の守備範囲はたいへん広く、特定の業務や業種などに依存するものではありません。経営者のパートナーとして経営戦略立案を支援、ITや設備の投資判断に対する助言、集客や商品の拡充策の立案、また、従業員に関する問題や課題の解決策の検討、などなど。また、そもそも組織が解決すべき課題がどこにあるのかを考える、など、求められるスキルは実に様々です。

協会には、こうした課題解決のために求められるスキルを向上させるために、豊富なメニューを用意しています。

・スキルアップセミナー

中小企業診断士や経営コンサルタントに求められる、基本的なスキル、専門性など、幅広いテーマとメニューで会員の方にスキルアップの機会を提供しています。セミ

ナー会場には、すでに独立した人や将来を迷っている人もいて、いろいろな相談ができる機会にもなっています。

・実力養成講座

受託開発委員会主催の講座で、協会の受託業務を実施するうえで必要な基礎的な知識・スキル、手続きや留意点などが学べます。業務経験を積んだ診断士から実践的な内容を具体的に教えてもらえるため、講座を通じて診断士としての業務がどのようなものかを知ることができま



・プロコン育成塾

将来プロのコンサルタントになること決めた人、すでに独立を考えている人には、実践的な訓練と経験豊富なプロコンからアドバイスが得られる「プロコン育成塾」がおすすめです。企業診断を自分一人で取り組む実習、また、将来のビジネスプランに対するアドバイスなども充実しています。

■人脈づくりに役立つ活動

コンサルティングでも診断業務でも、仕事で必要とされるスキルは「腕の違い」を問われるものばかりです。一人でスキルアップに取り組んだり、自己啓発を重ねたりしても、どこか不安なものです。こうした不安は、実は自分ひとりだけが感じるものではなく、中小企業診断士なら誰でも少なからず感じているものです。そんなときに頼れるのは、経験豊富な先輩や「師匠」と呼ばれるようなベテランの中小企業診断士、同じ境遇にある仲間たちです。

人脈は、必ずしも仕事を得るためだけのものではありません。中小企業診断士として活動する際に、人とのつながりがあることがどれほど役立ち、心の支えになるかは、多くの中小企業診断士が実感しています。協会の活動を通じて中小企業診断士同士のつながりができることで、

仕事のスキルアップだけでなく、自分自身の将来の展望や悩みの解決にきつと役立つに違いありません。

• 研究会

活動は平日の夜間が多く、仕事をしながらでも参加できるようになっています。メンバーには企業内診断士も多くいて悩みや情報の交換も盛んです。積極的に研究発表するなどして、自身の得意分野をアピールしたり磨いたりして、将来の準備を進めることを可能です。



• 委員会

会員のための様々な活動を企画・運営しているのが委員会活動です。委員の多くは、すでにコンサルタントとして独立している人も多く、様々な相談に乗ってもらえることでしょう。また、委員会活動を通じて、仕事を紹介されることもよくあります。

• 懇親会、新年会など

コロナ禍で、活動はやや制限されていますが、会員同士の懇親の場がいろいろと用意されています。キャリアも年齢も仕事の分野も実に様々な人たちが一堂に会して、お互いの親交を深めるとともに、「顔と名前」を憶えてもらう場にもなっています。気軽に参加してみませんか。



■ 将来の独立のために

多かれ少なかれ、ほとんどの中小企業診断士は、独立を考えていることでしょう。今はその時期でなくとも、どこかで独立のチャンスが巡ってきます。そのとき、チャンスをつかみ取るのか、せつかくのチャンスを逃してしまうのか、それは心構えも含めて、どれぐらい「備えているか」によるのだと思います。

• 顔と名前を憶えてもらう

仕事を頼む、依頼される、といったものには、必ず「信用」や「信頼」が伴っています。対価にふさわしい製品やサービスの品質が保証されているか、無意識にも相手を選ぶ際には必ず考えているはずで、中小企業診断士個人には、最初からブランドとしての信頼があるわけではありません。日々の人とのつながり、様々な仕事や協会の活動、ちょっとした約束事や人とのやりとり、などが協会の中での信頼となりブランドとなっていきます。

最初から見知らぬ民間企業が仕事を依頼することはほぼ考えられません。まずは、協会組織や活動を通じて知り合えた先輩・仲間から仕事を頼まれることからスタートします。そのためにも、自分自身が「何が得意分野なのか」で「どれぐらい信頼できるか」といった「専門性と信頼性」を知ってもらう必要があります。

• 他人の失敗から学ぶ

中小企業診断士としての仕事は、基本や基礎にあたるものはあっても、「手順書」や「マニュアル」はありません。自分自身の工夫や創意で仕事を進めます。試行錯誤によって「仕事の腕前」が上がり、クライアントからも信頼や感謝が得られるようになっていくものです。そのプロセスでは、失敗や後悔も避けては通れないことでしょう。しかし、同じような道を誰もが通ってきています。今では笑える「苦い思い出」「失敗談」は、様々な協会活動の中で聞くことができます。

• 背中を押してもらおう

人生の大半を職場で過ごしているわけですから、そこから離れることには多くの不安が伴うことも当然でしょう。また、どのようなコンサルタントになりたいのか、なれるのか、など一人で考えていると、結論を出すことにも迷いが生じたりもします。すでに独立を果たした人たちも、そのような道を通ってきています。案外、思い切って飛び込めばなんとかなることもあります。最後の一步を踏み出すために、協会活動の仲間に背中を押してもらおうのもいいでしょう。

■ 協会活動に興味のある方は

ここで紹介したイベントやセミナーは、随時、協会事務局よりメールで案内をしています。また、受託業務についての募集も同様にメールで届きますので、興味のある方はご一読ください。

委員会・研究会は、概ね春の年度替わりにメンバーを募集しています。まずは、事務局にお問合せいただければ、今からでもオブザーバー参加が可能です。ご相談ください。

ただいま修行中

《第8回》人のつながりを大切に、200年企業への成長を支援したい

岡部清一さん

インテリアメーカーの営業マンから一転、経営コンサルタントの道を選んだ岡部さん。お客さまのため、の思いが独立に結びつきました。



— 診断士になるきっかけは何だったんですか

前職は、インテリアメーカーの営業を担当していて、ほぼずっと、会社員人生を営業マンとして過ごしました。定年後もそのまま営業担当として会社に残り、ざっと38年間ですね。

主なお客さまには、中小建設業者が多くありましたが、商談を続ける中で、業界の特徴や課題、社長の悩みなどがわかってきました。お客さまの悩みや課題に応えたい、できれば社長の軍師役として役に立ちたいと考えていたところ、中小企業診断士という資格がこれに合っていると気づきました。

インテリアの仕事は、ほかにも大型商業施設の環境設計提案や商店街やモールに出店する専門店の店づくりの支援などもあり、まちづくりや商店街の活性化なども含め、これも中小企業診断士の仕事と親和性が高いと考えています。

— それで受験にチャレンジすることになったのですか

はい。平成21年に思い立ち、当初は仕事をしながら勉強をしましたが、なかなか時間のやりくりが難しく、最初の一次試験では不合格でした。それで、受験校に通いながら受験対策をすることしました。それでも、何度も失敗しまして、一次試験合格にかなりの年数がかかってしまいました。ところが、何度も受験勉強を重ねた結果、基礎がしっかりしたようで、一昨年受けた二次試験では1度で合格することができました。苦労した分、中小企業診断士への思い入れは強いですね。「諦めなければ夢は叶う」です。

合格後は独立に向け準備を進め、昨年の暮れに社長に独立の意思を伝え応援も頂けましたが、引継ぎなどのためにしばらく会社にとどまっていた。ようやく状況が整い、今年の8月末に退職し、10月29日に開業届を出しました。

— 今はどんな仕事をしているのですか

「ひょうご中小企業技術・経営力評価制度」や保証協会の専門家派遣、補助金の書面検査など、協会を通じて斡旋して

いただいた仕事を中心です。

話をしっかりと聞いて、会社や経営者がかかえている問題、課題にしっかり応えていくことが大切だと考えています。仕事ではないですが、8月に第17期「プロコン育成塾」に入塾致しました。16年間に及び受け継がれ磨き上げられた講義内容は素晴らしく、プロコンサルタントとしての心構え、スキルの習得に取り組んでいます。

— 休みの日は、どのように過ごしていますか

散策が好きで、山登りを兼ねて自然や名所・旧跡を見て回っています。六甲山に登ったりもしますし、京都にも出かけています。だいたい15キロぐらいは歩きますね。それと、読書も楽しんでいます。時代小説が多く、池波正太郎や司馬遼太郎はずいぶん読みました。

— プライベートではどんなことをしていますか

もともと、あまり外で活動するタイプではないのですが、特にコロナ下でもあり、自宅で読書をしていることが多いですね。マンガも読みますが、もっぱらビジネス書が中心です。近くの図書館で仕事に関係する本を借り、勉強を積み重ねています。今の仕事は、いろいろな相談が多く幅が広いので、様々な経験や勉強を積み重ねるのに役立っています。

— 読者や会員の方に一言

お客さまやパートナーの方々の「人とのつながり」を大切にしたいと考えています。仕事で知り合えた人とWin Winの関係を築けるように全力で取り組みます。経営者に対しては、当面の利益の追求よりも、200年続くような企業に育つよう支援していきたいですね。

【プロフィール】 岡部清一（おかべきよかず）

1959年7月生まれ。兵庫県神戸市出身。兵庫県立兵庫高校、北海道大学水産学部を卒業後、東リ株式会社に勤務。建築工事業界で営業職として販路開拓、販売管理、商業店舗出店・改善支援に従事。2020年に中小企業診断士登録。2021年「おかべ診断士事務所」を開業。建設業界での経営改善、営業マーケティングや商業店舗・まちづくり支援を得意とする。事業承継士。

協会だより

令和4年1月23日(日)に新年会を開催予定です。

コロナ禍ではありますが、感染防止に留意しながら可能な限りの開催を予定しております。協会の方が集まる機会はなかなかなく、この機会に是非お集まりいただき、会員同士の交流を深めて下さい。

【日時】 令和4年1月23日(日) 14:30~16:30
(終了後1時間程度会場を利用いただけます)

【場所】 神戸市産業振興センター10階
※食事の提供は予定しておりません

【参加料金】 無料。

【内容】
会長挨拶、新入会員紹介(参加者のみ)、新年落語会

(プロの落語家による)、名刺交換タイム など
有志(要事前申込)によるプレゼンテーション 中身は「お楽しみ」



2020年の新年会の様子

診断士の日レポート

去る11月3日祝日に、当協会主催のイベント「中小企業診断士の日 2021オンラインイベント 中小企業診断士として切り拓くミライ」が開催されました。緊急事態宣言解除直後であったため、感染防止に留意し、昨年に続き2度目のオンライン開催となりました。

今回のイベントでは、様々な活躍方法のある中小企業診断士という資格の魅力について、個性的な活躍をしている5名のフロントランナー(先駆者)から話を聞き、また参加者との交流をする機会を設けました。35名の申し込みがあり、多くは会員以外の方で、これから資格取得を志す方も多く参加されました。

冒頭は、「フロントランナーが語る ショートセミナー」として、5名の中小企業診断士による、5者5様の活躍について、語られました。次に、「フロントランナーに聞くパネルディスカッション」として、資格を取ったらこうなった「働き方編」や、「生活編」など、それぞれの中小企業診断士に起こった変化を語っていただきました。最後に、「フロントランナーと語る ブレイクアウトセッション」として、事前にアンケートで収集をした、参加者の興味あるテーマに沿い、冒頭の講演者と少人数のグループで活発な意見交換が行われました。



2021年11月3日(水) 13:00 - 16:00 オンライン開催(Zoom)

コンテンツ

1. フロントランナーが語る ～ショートセミナー～

堀川 圭佑氏 企業に所属しながら、副業でも活躍する
橋本 幸恵氏 ワークライフインテグレーション 子育てと中小企業診断士
森藤啓治郎氏 会社経営から診断士独立開業へ
西口 竜司氏 弁護士とのダブルライセンス
西水 敦子氏 企業内で資格・能力を活用して出世する (講師名50音順)

2. フロントランナーに聞く ～パネルディスカッション～

～資格を取ったらこうなった

3. フロントランナーと語る ～ブレイクアウトセッション～

～興味ある分野のフロントランナーと語ろう

委員会報告 10月～11月

●総務委員会

委員会開催日	主な議題
10月5日(火)	理論更新研修の振り返り、経営診断実務従事、新年会の企画、診断士の日
11月2日(火)	新年会の企画、来期理論更新研修、経営診断実務従事

●受託開発委員会

委員会開催日	主な議題
10月 7日(木)	実力養成講座⑤『経営支援強化促進事業』における業種別経営診断講座(建設業・製造業編)
10月13日(水)	今年度末受託実績予測について
11月11日(木)	実力養成講座⑥『経営支援強化促進』事業における業種別経営診断講座(サービス業・IT業編)

令和3年10月現在での今年度末予想受託実績は約5,000万円強と予想しています。これは一重に会員皆様のご協力あっての賜物だと思います。ご協力有難うございます。
また当委員会では、皆様のスキルアップのための実力講座も開催しています。10月は経営支援強化促進事業での建設・製造業に向けて、11月では同事業でのサービス・IT業に向けての講座を開催いたしました。どちらも数多くの会員の方にご参加いただき有難うございました。

●会員研修委員会

委員会開催日	主な議題
10月25日(月)	スキルアップセミナーの開催状況の確認、オープンセミナー企画の打ち合わせ、研究会支援事業の打ち合わせ ほか
11月22日(月)	オープンセミナー企画の打ち合わせ、研究会支援事業の打ち合わせ ほか

「中小企業診断士の日」のイベントは、多くの方にご参加いただき、開催できました。2022年には、「中小企業診断士祭 わっしょい」などを予定しています。

●広報委員会

委員会開催日	主な議題
10月27日(水)	カタログ作成の意見出し打合せ・デザイナーの参画を得て基本設計を検討、HPリニューアル計画の協議、20周年記念号のプラン精査 外部オブザーバーとの協議、広報活動の検討(テレビ媒体の活用方法)等
11月24日(水)	年末進行の確認業務を含めて有志で実施し、広報委員会全体会議は12月22日に設定

国際フロンティアメッセ2021には、各方面からの協力を頂き、盛況のうちに終了し、会員各位の協力により、動画コンテンツをたくさん提供頂きました。今後の広報活動に活用させていただきます。皆様のご協力を感謝いたします。

今後の予定

スキルアップおよびオープンセミナー(会員研修委員会主催)

日時	場所	テーマ	講師
1月15日(土)	オンライン開催	中小企業診断士が知っておきたいBCP(事業継続計画)の制度と策定支援	稲垣賢一氏
1月22日(土) 午後	神戸市産業振興センター901号室	企業内診断士祭り wasshoi	企業内診断士(調整中)
2月15日(火) 15:00~16:30	神戸市産業振興センター901号室	最近の金融・経済情勢について	日本銀行神戸支店 支店長 山崎真人氏

*連絡先: 代表 伊藤 康雄 ito@clstrm.co.jp

受託開発委員会による「実力養成講座」

日時	場所	テーマ	講師
1月13日(木) 18:00~20:00	WEB講座	『経営支援強化促進』事業における業種別経営診断講座(経営改善計画書の作成)	西口延良氏

連絡先: 受託開発委員会 jyutaku@shindan-hg.com

日時	予定	主催・場所
1月23日(日)	新年会	神戸市産業振興センター10階

研究会スケジュール

問い合わせ先: 078(362)6000

コロナウイルス感染症対策のため、今後、大幅な予定変更が考えられます。念のため、開催日程については各研究会にお問い合わせください。

●診断技術向上研究会

日時	場所	テーマ	講師
1月13日(木)	神戸市産業振興センター906号室	第5章 部下の意欲を: 疎外するもの	富田氏、綱島准教授(ビジネス活用委員長)
2月10日(木)	神戸市産業振興センター906号室	第6章 健全なリーダーシップの発揮: リーダーシップの発揮	富田氏、綱島准教授(ビジネス活用委員長)

*開催日: 原則第2木曜日 時間: 18:30~20:30
*連絡先: 代表 楠田 貴康(くすだ たかやす) tkusuda2002@gmail.com

●地域産業活性化研究会

日時	場所	テーマ	講師
1月18日(火)	神戸市内会議室	今後の活動テーマに関する議論	全員

*開催日: 調整中 時間: 調整中
*連絡先: 代表 中澤 悠平 y-nakazawa@aimable-consulting.com

●HOO経営研究会

日時	場所	テーマ	講師
1月18日(火)	神戸市勤労会館404号室 またはZoom	Withコロナと中小企業対策	未定

代表 福島 繁 *開催日: 原則奇数月第3火曜日 時間: 18:30~20:30
*連絡先: 加藤 慎祐 MLD11291@nifty.com

●プロコンスキル研究会

日時	場所	テーマ	講師
1月10日(月)	神戸市産業振興センター905号室	①支援事例等による実践スキルの研鑽 ②支援事例等による実践スキルの研鑽	①玉島 剛 ②福島 猛

*開催日: 原則奇数月の第2月曜日 時間: 18:30~20:30
*連絡先: 大内 利之 to525pip@yahoo.co.jp *1月10日のみ(参加はプロコン育成塾修了者と講師に限り) 18:00~20:00開催です。

●青年部会

日時	場所	テーマ	講師
1月11日(火)	神戸市産業振興センター or Web会議	支援事例の紹介&議論	未定
2月 7日(月)	神戸市産業振興センター or Web会議	支援事例の紹介&議論	未定

*開催日: 原則第1月曜日 時間: 19:00~21:00
*連絡先: 青山 雄一郎 aoyama@kig.blue *参加資格: 49歳以下の会員

●ものづくり&SCM研究会

日時	場所	テーマ	講師
2月5日(土)	兵庫県民会館	未定	未定

*開催日: 原則第1土曜日 時間: 14:30~17:00(1,5,8,12月除く)
*企業内・独立問わず、経営全般の幅広い専門知識の情報交換を目指し、現場見学も取り入れて開催しています。
*連絡先: 三村 光昭 QZE02753@nifty.com

●Shobai Lab.(商業研究会)

日時	場所	テーマ	講師
1月20日(木)	88base エベース	小売業支援事例紹介	稲垣賢一氏

*会場所在地: 西宮市馬場町3-20-2F(最寄り駅: 阪神西宮)
*開催日: 毎月第3木曜日 時間: 18:30~21:00(8月は日程変更の可能性有)
*連絡先: 代表 木之下 尚令 info@ut-mana.jp

●事業性評価研究会

日時	場所	テーマ	講師
1月24日(月)	神戸市勤労会館406号室	支援事例の発表(予定)	会員 堀本修一

*開催日: 毎月第4月曜日 時間: 18:30~20:30(4,8,12月除く)
*連絡先: 代表 西口 延良 ANC11775@nifty.com

*各スケジュールは変更になることがあります。

編集後記

今年の新年号は、号外の別冊つきでお届けします。初夢で見る未来の姿は、10年後の現実とどれくらい一致しているのでしょうか。その検証は、次の診断ひょうご編集長にお願いをしたいところです。今年も広報委員会と診断ひょうごを、どうぞよろしく願います。(玉)